

熊取町地域公共交通計画にかかる目標指数の達成状況

資料②

基本方針	評価指標	現状値 2023（令和5）年度	参考値 2024（令和6）年度	検証・評価期間（令和7年度～令和11年度）					目標値 2029（令和11）年度
				2025（令和7）年度	2026（令和8）年度	2027（令和9）年度	2028（令和10）年度	2029（令和11）年度	
各公共交通機関の役割を果たすことによる 地域公共交通ネットワークの維持 【維持・役割分担】	熊取駅の乗車人員数	3,603千人/年	3,637千人/年						3,603千人/年以上
	南海ウイングバスの利用者数	594千人/年	599千人/年						594千人/年以上
	和歌山バス那賀の利用者数	48千人/年	61千人/年						48千人/年以上
	ひまわりバスの利用者数	97千人/年 (運賃無償期間)	103千人/年 (運賃無償期間)						130千人/年以上
	交通事業者と町との意見交換の実施回数	—	※2						1回/年以上
	ひまわりバスにかかる町の事業負担金（車両更新費除く）	4,296万円/年 (運行1kmあたり395.7円)	4,663万円/年 (運行1kmあたり430.5円)						4,296万円/年以下
	ひまわりバスの収支率	6.7%※1	0% (運賃無償期間)						7%
地域公共交通を利用しやすい環境の構築 【利便性向上】	地域公共交通の人口カバー率	93%							93%以上
	路線バス利用者の路線バスに対する満足度	34.4%							40%
	ひまわりバス利用者のひまわりバスに対する満足度	74.0%							80%
まち全体で利用できる地域公共交通の 仕組みの構築 【魅力向上・情報発信】	路線バスの利用頻度	22.0%							25%
	ひまわりバスの利用頻度	26.0%							30%
	タクシーの利用頻度	9.5%							20%
	町、交通事業者が実施する地域公共交通に関する情報発信の実施回数	—	※3						1回/年以上
	地域公共交通の利用促進に向けた取組の実施回数	—	※4						2回/年以上

※1：運賃無償化前3ヵ年（2018（平成30）、2019（令和元）、2020（令和2）年度）の平均値。

※2：交通事業者との全体会議は行っていないが、個別の協議（新規バス停設置に係る南海ウイングバス株式会社との協議他）については複数回実施。

※3：YouTube「ひまわりバスで行く！くまさんぽ vol.4～vol.8」配信、ホームページ「ひまわりバスの利用の仕方（一例）」掲載。

※4：ホームページ「公共交通機関を利用しましょう」掲載。